

(2) 屋内貯蔵所構造設備明細書（危省令様式第4のロ）

記入例

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		倉庫業 (事業所敷地面積 15,259㎡)													
建築物の構造	階数		地上1階		建築面積		120㎡		延べ面積		120㎡				
	壁	延焼のおそれのある外壁		RC造 (耐火構造)		柱		RC造 (耐火構造)		床		RC造 (耐火構造)			
		その他の壁		RC造 (耐火構造)		はり		RC造 (耐火構造)		屋根又は上階の床		RC造 (耐火構造)			
	窓		網入りガラス アルミサッシ (防火設備)		出入口		鉄製 (特定防火設備)		階段		屋外：鉄製1 軒高 高		5.9m		
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造				階数		地上2階		建築面積		140㎡		延べ面積		280㎡	
				建築物の構造概要				RC造（耐火構造）							
架台の構造				鉄製（幅3、600mm×奥行2、000mm×高さ5、400mm）1基											
採光、照明設備				蛍光灯（安全造防爆構造）											
換気、排出の設備				強制換気設備											
電気設備				電気設備の基準により設置											
避雷設備				独立避雷針											
通風、冷房装置等の設備				なし											
消火設備				第4種泡消火設備 粉末消火設備（B火災20単位）1本 第5種粉末消火設備 粉末消火設備（B火災7単位）1本											
警報設備				なし											
工事請負者住所氏名				川越市〇〇町〇〇番地〇〇											
				川越工事(株) 担当 〇〇 〇〇 電話〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇											

記入方法（屋内貯蔵所 構造設備明細書）

欄	記入方法		
事業の概要	屋内貯蔵所の設置している事業所等の主たる事業の概要を記入すること。 なお、かつ書きにより当該事業所の敷地面積を記入すること。		
「建築物の構造」の欄の記入方法は、次によること。			
	1 棟の建築物のすべてが屋内貯蔵所として規制される場合	建築物の一部に設置した屋内貯蔵所に供する部分	
	<div>屋内貯蔵所</div>	<div>他用途</div> <div>他用途</div>	<div>屋内貯蔵所 (供する部分)</div>
	一棟	一部規制	
階数	当該建築物の建築基準法施行令第 2 条第 8 号で規定する階数を記入すること。 ただし、地階がある場合は、「地上〇階、地下〇階」と記入すること。	当該屋内貯蔵所が設置されている階数を記入すること。 ただし、地階がある場合は、「地上〇階、地下〇階」と記入すること。	
建築面積	当該建築物の建築基準法施行令第 2 条第 2 号で規定する面積を記入すること。	当該屋内貯蔵所が設置されている部分の面積を記入すること。	
延べ面積	当該建築物の建築基準法施行令第 2 条第 4 号で規定する面積を記入すること。	当該屋内貯蔵所が複数の階に設置されている場合に、当該屋内貯蔵所の部分の合計面積を記入すること。	
壁のうち「延焼のおそれのある外壁」	当該建築物の外壁のうち、建築基準法第 2 条第 6 号の規定に該当する部分がある場合に、当該外壁の構造を記入すること。 また、建築基準法における構造（「耐火構造」、「不燃材料」等）をかつ書きで記入すること。	当該屋内貯蔵所が設置されている部分に延焼のおそれのある外壁がある場合に、当該外壁の構造を記入すること。また、建築基準法における構造（「耐火構造」、「不燃材料」等）をかつ書きで記入すること。	
壁のうち「その他の壁」	当該建築物のうち、延焼のおそれのある外壁以外の外壁、仕切り壁等の構造及び建築基準法における構造も併せて記入すること。	当該屋内貯蔵所が設置されている部分の仕切り壁等の構造及び建築基準法における構造も併せて記入すること。	
柱、床、はり、屋根	当該部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。	当該屋内貯蔵所が設置されている部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。	
窓	外壁部分にある窓の材質（網入ガラス、普通ガラス等）及び窓枠の材質（スチールサッシ、アルミサッシ等）並びに建築基準法における耐火性能（特定防火設備、防火設備等）をかつ書きで記入すること。	当該屋内貯蔵所が設置されている部分にある窓の材質（網入ガラス、普通ガラス等）及び窓枠の材質（スチールサッシ、アルミサッシ等）並びに建築基準法における耐火性能（特定防火設備、防火設備等）をかつ書きで記入すること。	
出入口	外壁部分にある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準	当該屋内貯蔵所が設置されている部分のある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）	

	法における耐火性能を記入すること。	及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入すること。			
階 段	「屋内階段」、「屋外階段」の区分、階段の数、階段の構造、階段室の場合は、区画の有無及び区画構造を記入すること。	当該屋内貯蔵所が設置されている部分の「屋内階段」、「屋外階段」の区分、階段の数、階段の構造、階段室の場合は、区画の有無及び区画構造を記入すること。			
軒 高 及 び 階 高	危政令第 10 条第 1 項第 4 号で規定する軒高を記入すること。	危政令第 10 条第 2 項第 1 号で規定する階高を記入すること。			
1 棟の建築物の一部に設置した貯蔵所の場合の「建築物の構造」の欄の記入方法は、次によること。		<table><tr><td>他用途</td><td rowspan="2">屋内貯蔵所</td></tr><tr><td>他用途</td></tr></table> <p>建築物全体の概要</p>	他用途	屋内貯蔵所	他用途
他用途	屋内貯蔵所				
他用途					
階 数	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 8 号で規定する階数を記入すること。				
建 築 面 積	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 2 号で規定する面積を記入すること。				
延 べ 面 積	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 4 号で規定する面積を記入すること。				
建築物の構造概要	当該建築物全体の建築基準法第 2 条第 5 号で規定する主要構造部の構造の概要を記入すること。				
架 台 の 構 造	屋内貯蔵所に設置した架台の材質、段数、縦、横、高さ及び設置台数を記入すること。 なお、当該架台が、自動ラックの場合は、その旨も併せて記入すること。				
採光、照明の設備	屋内貯蔵所に設置した採光及び照明設備の種類等概要を記入すること。				
換気、排気の設備	窓の開閉又は上部に設置された換気扇のみ等自然換気又は排出の場合は「自然換気」と、可燃性蒸気等が滞留するおそれのある場所のみを強制換気又は排出を行っている場合は、「一部強制換気」と、全体を強制換気又は排出を行っている場合は、「強制換気」を記入すること。				
電 気 設 備	配線、スイッチ、照明、電動機等の構造及び防爆ランク等を記入すること。ただし、総合的に「電気設備の基準により設置」と記入することも認められるものであること。				
避 雷 設 備	「独立避雷針」、「独立架空地線」、「ケージ」のうち該当するものを記入すること。なお、当該製造所・一般取扱所が他の施設の避雷設備の保護角内にあるため、避雷設備を設置しない場合は、他の施設の避雷設備の区分及びかつ書きで他の施設の名称等を記入すること。				
通風、冷房装置等の設備	屋内貯蔵所に設置した通風、冷房及び暖房装置の概要を記入すること。				
警 報 設 備	令第 7 条第 3 項で規定する区分のうち、当該屋内貯蔵所に設置したものを記入すること。				
消 火 設 備	危政令別表第 5 の消火設備の区分のうち、当該屋内貯蔵所に設置したものを記入すること。 ただし、当該屋内貯蔵所の一部に設置したものについては、その部分をかつ書きで記入すること。				
工事請負者住所氏名	設置者等から工事を請け負った法人の名称及び住所並びに当該法人における当該工事の責任者の氏名、電話番号を記入すること。				